

関西フィルハーモニー管弦楽団

みんなあつまれ!
こどものための

クラシックコンサート



指揮: 藤岡 幸夫

アンダーソン
トランペット吹きの休日

アンダーソン
踊る子猫

オーケストラにはどんな楽器があるの?~楽器紹介

ドヴォルザーク
スラヴ舞曲第1番



ゲスト: テノール
山本 稔平 ゲスト: ピノリスト
浦池 佑佳

ララ
グラナダ
ブッチャーニ
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より“私のお父さん”
みんなで歌おう!!「世界に一つだけの花」(横原敬之)
ビゼー
「アルルの女」より“メヌエット”“ファランドール”

日時
2012年 2/5 日

開場 13:00 | 開演 14:00

*駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

チケットのご購入・お問い合わせ

■プレイガイド (12月20日発売開始)

鳥取市民会館、鳥取市文化センター、とりぎん文化会館、今井書店(吉成店、鳥取駅前店、湖山店、田園町店)、トスク本店、アコヤ楽器店



■座席確認はホームページで!

<http://oyako-concert.karoyaji.org/>

会場 鳥取市民会館

鳥取県鳥取市掛出町12番地

TEL: 0857-24-9411

料金 大人 2,000円

全席指定 高校生以下 500円

お子様の膝上鑑賞は無料です。



主催/こどものためのクラシックコンサート・関西フィルハーモニー管弦楽団実行委員会

協力/智頭町森のようちえんまるたんぼう、鳥取おやこ劇場、(社)ハーモニカレッジ、ぶろじえくとえん、NPO法人賀露おやじの会
後援/鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、智頭町教育委員会、若桜町教育委員会、八頭町教育委員会、岩美町教育委員会、鳥取県PTA協議会、新日本海新聞社、
山陰中央新報社、朝日新聞鳥取総局、読売新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、NHK鳥取放送局、日本海テレビ、BSS山陰放送、山陰中央テレビ、エフエム山陰、日本海ケーブルネットワーク、いなばびよんびよんネット

待望の関西フィルハーモニー管弦楽団が再び鳥取に!!

子どもと一緒に楽しく聴くホンモノのクラシックコンサート!

お待たせしました! 昨年大好評だった関西フィルが、今年も鳥取に来ます。

「みんなあつまれ! こどものためのクラシックコンサート」は、赤ちゃんから小中高生・大人の方まで幅広く楽しんで頂けるコンサートです。

クラシックって難しそう…、こどもがじっとしていないから…と思っている方でも大丈夫!! 小さな子どもを連れて気軽に来られるよう、おむつ替え、授乳コーナーや休憩コーナーを準備していますので、いつでも休憩タイムを取って頂くことができます。感性豊かなこども時代だからこそ、ホンモノの演奏の素晴らしさを楽しんで欲しい。開演前には演奏者や楽器と間近にふれあうロビーコンサートも計画しています。

親子でふれあいながら、とびっきり贅沢な時間を過ごして下さい!!!



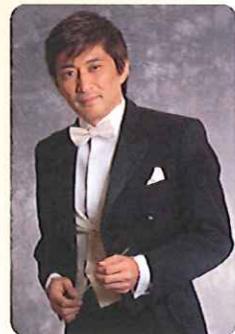
指揮

藤岡 幸夫

「関西フィル首席指揮者」

1962年東京生まれ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶應義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て90年に渡英。92年マンチェスターにて最も才能ある若手指揮者に贈られる「サー・チャーレズ・グローヴス記念奨学賞」を日本人にもかかわらず特例で受賞。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場にて「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビュー、その上演が2006年度スペインの新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。2009年には同劇場にて「ナクソス島のアリアドネ」で再客演、ふたたび大成功を収め、すぐに2014年の「蝶々夫人」の客演が決まった。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者を務め、その後2007年4月より同管弦楽団の首席指揮者に就任。

公式ホームページ <http://www.fujioka-sachio-fan.com/>



管弦楽

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2003年より特定非営利活動法人として生まれ変わり、関西を代表する楽団の一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。世界的ヴァイオリニストであるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より



常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。人間の営みから生まれた音楽…『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。活動に明確なビジョンを持ち、挑戦し続ける個性派 楽団としてますます好評を博している。平成22年度大阪文化祭賞奨励賞受賞。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

テノール

山本 耕平

鳥取県米子市生まれ。第49回全国高等学校総合音楽祭鳥取県大会ソロ部門に於いて器楽・声楽共に最優秀賞受賞。東京学芸大学教育学部高等教育教員養成課程音楽科クラリネット専修を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科バス専攻に入学。3年次にテノールに転向後、同大学を安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会音楽賞、松田トシ賞を得て首席卒業。2008年イタリア声楽コンカルソ・ミラノ大賞部門第1位受賞、2009年日伊声楽コンカルソ第1位及び歌曲賞受賞。

2010年エネルギア音楽賞受賞。第1回武

藤舞海外研修助成奨学金を得て渡伊、

2011年ミラノ・ヴェルディ音楽院ピエ

ンニオ・声楽コース修了。現在東京藝

術大学大学院音楽研究科修士課程声

楽(オペラ)専攻に在学中。声楽を常松

喜恵子、横山和彦、高橋修一、直野資、テ

ルフオ・メンツッチ、アルベルト・クビード、

黒田亞紀子の諸氏に師事。二期会会員。



ソプラノ

浦池 佑佳

大阪音楽大学音楽学部声楽専攻科修了。第45回関西新人演奏会出演。オペラでは「ドンジョヴァンニ」「ドンナアンナ」「コジファントゥッテ」「フィオルディリージ」「メリーウィドー」「ハンナ」「パリアッチ」など、ラ・ボエーム」「カルメン」役などで出演。第55回全日本学生音楽コンクール大阪大会第2位。第7回KOBE国際学生音楽コンクール優秀賞(最優秀賞なし)シーベルティニア賞、兵庫県知事賞受賞。第32、33、35回イタリア声楽コンカルソ入選。和歌山音楽コンクール一般の部第2位(1位該当者なし)。第2回鳥取県民声楽オーディション知事賞(最高位)受賞。知事賞受賞者コンサートでは、大阪センチュリー交響楽団(指揮:金洪才)と共に演じ、交響曲「第九」のソリストとしても活躍している。宮永あやみ、天野春美、K.ロローヴァの各氏に師事。広島市在住。

